

循環コース 推奨コース

精神・神経科

精神科医を目指す研修医が自身の将来像を見定めるために必要な研修内容を、余すところなく盛り込んだ研修プログラムです。心理、精神病理、薬理、神経心理、社会精神医学、司法精神医学など幅広い専門分野の指導医がそろった大学病院での精神科の研修と、神経内科をはじめとして精神疾患の多面的理解に必要な他科の研修を自由に選択できます。さらには、関連精神科病院で、精神科救急、精神科リハビリテーション、地域ケア、児童・思春期、認知症、アルコール、医療監察法に基づく触法病棟など、専門に特化した内容の研修も可能です。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
麻酔	小児	産婦		精神		神経内科			選択期間		

大学病院での研修

あらゆる精神疾患の初診患者が来院する外来研修、月平均30～40例の入院がある病棟研修、総合病院ならではのリエゾン・コンサルテーション研修があります。いずれも幅広い専門分野の指導医が日常臨床、毎週のカンファレンス、回診などを通じて懇切丁寧に指導しています。研修医向けのミニレクチャーも充実しており、症例検討会、抄読会、各種研究会などと併せて、基礎から実践まで精神医療を幅広く学ぶことができます。基本的な診察法、検査の解釈から治療の選択まで、一生の土台となるべきものを習得できる場となります。

選択期間

精神疾患をより深く多面的に理解するために必要な他科の研修(神経内科、小児科、放射線診断科、麻酔科、皮膚科、漢方など)を自由に選択できます。

単科病院での研修

大学病院では経験できない精神科救急、社会復帰のために欠かせない精神科リハビリテーション、退院後の地域ケアなど、発症から治癒までの過程を包括的に学び、精神科医の役割やコメディカルスタッフ、行政との連携を体得することができます。児童・思春期、認知症、アルコール、医療監察法に基づく触法病棟など、専門に特化した内容の研修も可能です。